

山東っ子

長子配布

令和2年6月2日 No.3
武雄市立山内東小学校
Tel 45-3565 Fax 20-7014
文責：校長 岩永 宏紀



学校教育目標：『自ら学び、心豊かで、元気な東っ子の育成』

- ◆ 山内東小の約束：『相手がいやがることは しない 言わない』
- ◆ 山内東小学校は「立腰教育ーあいさつ・返事・はきものそろえ」で頑張っています。

その一言(ことば)の重み

たった一言の言葉で元気や勇気もらった経験、逆に、たった一言の言葉で悲しくなったり傷ついたりした経験は誰にでもあると思います。ほんのわずかな一言が、大きな力を持つからこそ、言葉を大切に「相手を思いやる子ども」を育てたいと考えています。そんな思いから、今日は全校朝会(放送)の場を使って、以下の話を子どもたちにしましたので紹介します。

～6月全校朝会(放送)での校長の話より～

今朝の校長先生の話は、「ことばの重み」についてです。

みなさんも知っている人が多いと思いますが、先月、木村花(はな)さんという22歳の女子プロレスラーの方が、インターネットの書き込みに悩んで自ら命を絶たれました。とっても悲しい出来事です。書き込みには、「死ぬ」「消えてほしい」といった花さん自身の「存在」を否定する内容のメールが1日100件以上、送られていたそうです。

言葉は、時としてこのように凶器になります。ナイフなんて比にならないくらい、重く鋭く、心をえぐってきます。相手に何をしたら傷付くのか、何をされたら痛むのか。みなさんには、それに気づかない、感情がマヒした人には決してなあってほしくないと思います。その目も口も手も、誰かを傷つけるためにあるわけではありません。だれかと喜びを分かち合うために、だれかと幸せを分かちめるためにあるのです。ここで、「ことばの重み」について書かれた「その一言」という高橋系吾さんの詩を紹介します。

その一言

その一言で 励まされ

その一言で 腹が立ち

その一言で 泣かされる

ほんのわずかな一言で

ほんのちょっとの一言で・・・

その一言で 夢を持ち

その一言で がっかりし

不思議な大きな力を持つ



詩の中の「その」を「あなた」に変えてみてください。クラスの仲間にあなたはどんな一言をかけてきましたか？たった一言の言葉で元気や勇気もらった経験、逆に、たった一言の言葉で悲しくなったり傷ついたりした経験は誰にでもあると思います。ほんのわずかな一言が、大きな力を持つからこそ、山内東小学校では、相手を傷付ける言葉をなくし、相手に元気や勇気を与える言葉が飛び交う学校にしてほしいと思います。



そこで、山内東小学校の約束を、今年度は『相手がいやがることは しない 言わない』としました。みんなが安心して過ごせる楽しい学校を、全校みんなで作っていきましょう！

民生委員さんと集団下校をしました！

5月27日(水)の下校時に、民生委員さんに来ていただき、各地区の前で、簡単に顔合わせ会を行いました。その後、民生委員さんと一緒に集団下校を行いました。民生委員さんたちには、日頃から子どもたちの登下校の見守りや地域の様子の情報提供などをいただいています。これからも、地域と共にある学校づくりを目指していききたいと思います。



不審者対応避難訓練の実施

5月27日(水)に2年生の教室から不審者が入ってきたという想定で、避難訓練を行いました。避難経路の確認をはじめ、武雄警察署からは、防犯ブザー、近くの家へ逃げ込む、大声を出して助けを呼ぶなどの助言をもらい、自分の命を守るためにどう動くかを考える、たいへん有意義な時間となりました。

